

2020 Design V11.4 英語版 リリースにつきまして

2016/4/25

2020 Designの最新バージョン V11.4 英語版を 2016年4月25日
国内向けにリリースしました。

(株)ワイ・エム・エム 2020事業部

<< 全ユーザー様へのお願い >>

V11の [動作環境] (システム要件) を

http://www.2020japan.com/system_requirements.html

でご確認ください。特に、

ビデオカードがV11では必須となりました。

ビデオカードがなく、チップセット内蔵タイプのみパソコンでは、2020 V11はフリーズします。

⇒ ビデオカードは、デスクトップ・パソコンなら簡単に増設できます。

また、

1台のパソコンに複数のバージョン(V8.1とV11)をインストールすることはできません。

⇒ V8.1のパソコンは現状のまま、別のパソコン(ビデオカード搭載)にV11をインストールして
V11の操作に慣れるまで 2020 USBデバイスキーを付け替えながら操作されることをお勧めします。
V8.1研修用のUSBデバイスキーの貸し出し(無償)も可能です(数に限りがありますが)。

V11.4 にバージョンアップを希望されるユーザー様は、

パソコンの準備が整いましたら、ご連絡ください。

折り返し V11.4を発送させていただきます。

なお、V8.1旧ライトバージョンをご利用のユーザー様は、2020カナダ本部と条件面で交渉
しておりますので、発送は今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。


***** ***** ***** ***** *****

V8.1 と V11.n は、当面どちらでもお使いいただけるようにいたします。

以下のバージョン比較(主なもの)を参考に ご判断ください。

2020 Design バージョン比較 (V8.1.10 : V11.n)

	V8.1.10	V11.n
言語	日本語版	英語版 (JP, KIKI等カタログ内容は日本語表示、 メモは日本語可)
動作環境	OS : Windows XP, Vista, 7, 10 は可。Windows 8 は不可。Windows 次バージョン以降は不明。 ビデオカード : 推奨	OS : Windows 7以降は可。 ビデオカード : 必須。なければフリーズする。 その他 : 全体的に高性能PCを推奨 (詳細は、[動作環境] でご確認ください)
動作	軽い (レンダリング含め、サクサク動く)	V9, V10 に比べると軽くなったが、V8.1に慣れた人 にとっては重い ⇒ [動作環境] 推奨仕様で、かつ、SSD(ソリッドステートドライブ)追加なら 快適 操作が期待できる。
操作性	普通	「リボン」モードで、より直感的に操作できるよう になった。従来のモードも選択可。
テクスチャ種類	約 5,500件	約 27,800件 (V8.1の約5倍) ただし、テクスチャ の選択時、コードで指定できなくなった。

	V8.1.10	V11.n
レンダリング	透視図等の[設定]画面で位置、角度、照明など設定してからレンダリング。描画後は、ある程度位置、角度など変更可。	レンダリングしてから、[Rendering Dashboard] (レンダリング・ダッシュボード)で各種設定。描画後も、自由に位置、角度など変更可。 
主な新機能	-	寸法線の矢印にドット(黒点)が選択可になった。(斜線、矢印、ドットから選択可) [SketchUp] 機能 : インターネット上の外部3Dデータが簡単に取り込み、平面図、立面図にも反映する [Surface] 機能 : 床材の部分表現が可能 [MagicPlan] とのリンク機能 : iPhone, iPadで撮影した間取りを 2020の平面図に取り込み可能 [Idea Center] 機能 : 加工したキャビネットやアイランドキッチンなどを 独自のテンプレートとして自分用のカタログに保存して再利用可 カウンターのエッジの加工などができるようになった (かなりズームインしないと違いはわからない) 照明に Auto Light 等の機能が追加された。
レンダリング関連の新機能	-	スケッチモード(手書き風のレンダリング) 選択可 Room Viewer 機能 : レンダリングを E-mail でエンドユーザー様に送信し、エンドユーザー様がレンダリングを照明や角度等の条件を自由に変更しながら確認可 (2016年4月25日時点 エラーになる)
マニュアル類	日本語版あり	ドキュメントとしてのマニュアルはなし。[HELP]メニューの中に、Online HELP, Training Videoはあり(いずれも英語)。2016年5月中に「V11主な変更点と新機能」としてマニュアル(PDF)を公開し、2016年8月までに V11 マニュアル (PDF) を公開するようにします (いずれも説明は日本語で)。

以上